

### 5.ハートンマルシェ

障害のある方の手作り品の販路拡大、工賃アップを目指し、毎月第4金曜日に兵庫区役所の1階で販売を行っています。11月開催「ももいろクローバーZ」(神戸文化ホール)の販売会イベントに参加を試み、出店希望事業所とも調整を行いましたが、主催者側との最終調整がうまくいかず、参加を断念することになりました。今回の経験を活かし今後も販路拡大に向けてイベントで販売活動が行えるよう新たな機会を模索していきます。

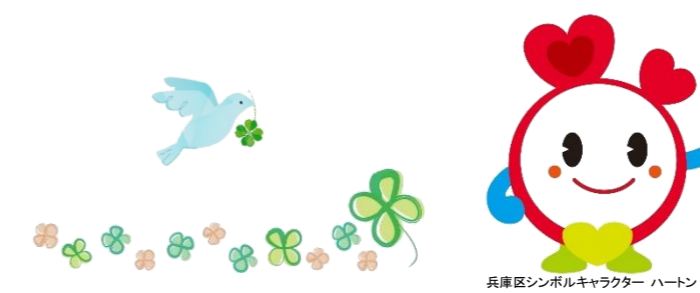
12月には、ハートンサロンのクリスマス会で販売を行いました。

※加盟事業所が増えたことで、マルシェの品ぞろえが多くなりました。雑貨や装飾品、お菓子里に食料品が展覧されています。月ごとに参加事業所が変わりますので、ぜひ多く足を運んでいただき、変化に富んだ品ぞろえをお楽しみください。



# 兵庫区自立支援協議会報

ひょう心通信



令和8年4月発行  
編集・作成 兵庫区自立支援協議会  
TEL:078-686-1731 FAX:078-686-1732

### 兵庫区自立支援協議会について

神戸市では「ともに住み続けたいまちを目指して～障害があってもなくても安心して豊かに暮らせるこうべ」を基本目標として、神戸市自立支援協議会及び各区自立支援協議会を設立しました。

兵庫区自立支援協議会は「障害者自立支援法」(平成18年4月)の施行を受け、平成20年3月14日に「兵庫区障害者支援ネットワーク」を発展的に組織し設立され、現在に至っています。

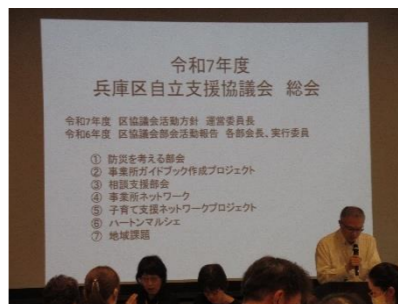
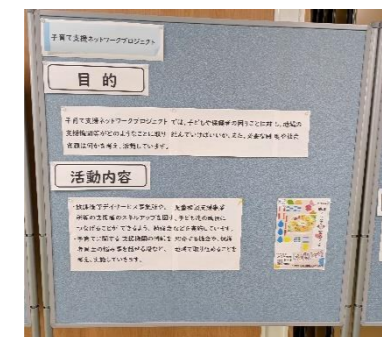
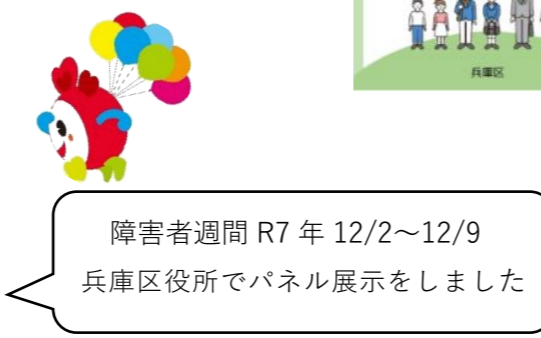
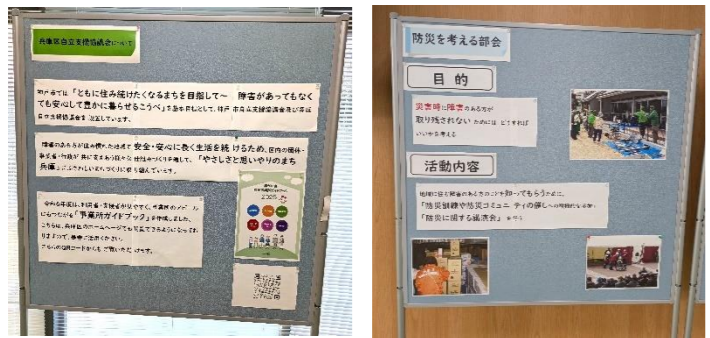
障害者が住み慣れた地域で安全・安心に長く生活を続けるためには、区内の団体・事業者・行政が共に支えあう様々な仕組みづくりを行っていくことが大切と考えています。

兵庫区自立支援協議会は、関係各機関や団体と協力し、社会参加や地域課題に取り組むことで、「やさしさと思いやりのまち 兵庫」にふさわしいまちづくりにおいて、協議会の更なる活性化を図ってまいります。

では、令和7年度の兵庫区自立支援協議会の2つの部会と3つのネットワークの活動をご紹介します。今年度は79団体が構成機関として活動しました。

### 6.事業所ガイドブック

今年度は、兵庫区役所HPに記載されている事業所ガイドブックのデータのみ更新しました。毎年1回のデータ更新を予定しています。最新版につきましては、左記QRコードまたは【障害者(障害福祉)兵庫区 神戸市】をご検索ください。



令和7年度 総会 (兵庫区役所みなとがわホール)



## 1.防災を考える部会

令和7年度も引き続き、防災訓練への積極的な参加や防災部会の活動発信等を通して、地域の方に障害について知ってもらうことを目標に活動を行いました。

6～10月、湊山地区防災福祉コミュニティのワークショップに参加しました。地域の方や福祉の関係機関、行政等との交流を通して、災害時の避難方法や要援護者支援の現状と課題等、地域の防災について考える機会となりました。

2月、出前トークによる防災研修『災害に備えよう？自分を助けよう・みんなでたすかろう』を受け、南海トラフ地震に備えて、自助・共助・公助による防災力向上の必要性を学ぶことができました。行政への質疑応答では、災害時要援護者として障害者への配慮も必要との意見が挙がりました。

その他11月の東山地区の総合防災訓練、2月の兵庫区総合防災訓練等に参加し、避難所開設運営の流れや避難所生活に関する体験を行いました。



## 2.相談支援部会

兵庫区内の相談支援専門員を中心に、多職種と連携しながら、相談支援の質の向上と地域課題の共有・抽出を目的として活動しています。

令和7年度は、「計画相談のつどい」で制度運用や実務課題（加算、様式変更、監査対応、ICT活用等）に関する意見交換を継続し、児童・家庭支援、学校連携、介護保険移行、多言語支援等についても議論を行い、個別ケースから地域課題を整理しました。

定例会では、事業所紹介や教育・行政・地域福祉等との意見交換を通じて、社会資源への理解と多機関連携の強化を図りました。

また、9月には長田区・須磨区との3区合同相談支援部会を開催し、精神科病院との連携をテーマに入退院支援の課題共有と関係づくりを進め、振り返りを通して今後の在り方も検討しました。さらに、あんしんすこやかセンター等との勉強会を開催し、制度横断的な支援についての理解を深めました。

次年度も、事業所間のつながりを基盤に、多機関連携を進め、実践に活かせる部会運営を目指します。



## 3.事業所ネットワーク

兵庫区内の障害福祉事業所が有志で集まり、情報交換や勉強会を行うことで垣根を超えたネットワーク作りを目的として活動しています。

令和7年度は、事業所間の横のつながりを強めるため、支援現場での課題共有と学びの深めることを目的に年間6回の定例会を開催し、利用者様の対応、職員のスキルアップなど、テーマトークを絡めながら日々の支援で直面する困りごとを持ち寄り、実践的な意見交換を行いました。

6月は障害特性の違いによる支援の難しさ、7月には本人の望む支援とその対応についての難しさ、9月は支援者間の連携について、11月は職員のスキルアップとメンタルヘルスケアについて、研修参加の難しさや新人育成など組織運営の課題を話し合いました。

また、1月には筋ジストロフィーの若年男性への支援を題材に事例検討を行い、参加者から制度理解の促進や社会参加の方法など多角的な支援方針案が出されました。支援力の向上のため来年度も継続して活動を行っていきます。



## 4.子育て支援ネットワークプロジェクト

子どもに特化した地域課題を話し合いたい、との思いから発足し3年目を迎えました。今年度は支援者のスキルアップを目指し、学びの多い1年となりました。

「個々のニーズを反映した個別支援計画について考える」では、放課後等デイサービスの方に講義していただき、5領域（1.健康・生活 2.運動・感覚 3.認知・行動 4.言語・コミュニケーション 5.人間関係・社会性）の対応法について学んだり、「支援学校での進路指導について」では、友生支援学校進路担当者にご協力いただき講義を行っていただきました。以前から課題となっていた、「将来について」「進路先の選び方」について等、保護者の方々も迷うことが多い事案について学びを得ることができました。

次年度は、今までに挙げた地域課題として

- ① 「必要な情報が保護者に行き渡らない」
- ② 「放課後等デイサービスの利用が本当に支援が必要な方に提供できないのではないか」に取り組み、地域のサービス基盤の整備について検討していきます。

